

生協総合研究所 第35回全国研究集会

単身化が進む社会とどう向き合うか ～これからのくらしと生協の可能性を考える～

2026年11月12日(木)13:30～17:30

会場：主婦会館プラザエフ7階カトレア（来場・オンライン併用開催）

参加費無料

近年、日本社会では、未婚化・非婚化や晩婚化、出生数の減少を背景に、家族や世帯のあり方が大きく変化しています。かつて主流であった「夫婦と未婚の子どもからなる世帯」に代わり、現在では「単身世帯」が最も多い世帯類型となっています。単身世帯の多くは高齢層ですが、現役世代でも一人で暮らす人が増えています。また「高齢の親と未婚の子が同居する世帯」も増加しており、親との死別を機に単身世帯へ移行する人も少なくありません。

こうした世帯の変化は、私たちのくらしや支え合いのあり方にも影響を及ぼしています。単身世帯をはじめとする規模の小さな世帯ほどリスク分散が難しく、貧困や孤立などの問題を抱えやすいことから、こうした問題をいかに予防・緩和していくのが重要な課題となっています。

第35回全国研究集会では、世帯のあり方にかかわらず、誰もがウェルビーイングを実現できる社会をどのように築いていくのかを考えます。また、その社会を支える主体として、生協が果たしうる役割についても議論します。単身世帯の増加は、生協の事業と活動のあり方に大きな影響を与えると予測されます。今後の生協の方向性を検討する上で、有益な機会となります。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。

第1部 日本社会の変化と今後の課題を考える

基調講演① 現役単身世帯・単身世帯予備群の意識と行動（仮）

宮本みち子（放送大学／千葉大学名誉教授）

基調講演② 現役単身世帯・単身世帯予備群の家計と食習慣（仮）

重川純子（埼玉大学大学院教授、当研究所理事）

第2部 社会の変化に応じた今後の生協のあり方を考える

事例報告① 前田裕保（生活協同組合コープこうべ 地域活動推進部）

事例報告② 渡邊たかし（一般社団法人くらしサポート・ウィズ 理事長）

事例報告③ 百瀬文也（東京ふれあい医療生活協同組合 代表理事専務理事）

敬称略

※ 講演題目や講演順などは変更の可能性がありますので、予めご了承ください。

● 申込方法

下記 URL（または右の 2 次元コード）の参加申込フォームよりお申込みください。

<https://business.form-mailer.jp/fms/d6673f88355690>



メールでのお申込みも承ります。次の事項を記載の上、ccij@jccu.coop 宛てにお申込みください。

- ① お名前 ② ご連絡先（メールアドレス、電話番号）
- ③ ご所属（団体会員の役職員・組合員の方は団体名あるいは加入している生協名）
- ④ 参加形態（来場／オンライン／オンデマンド） ⑤ 懇親会参加の有無

※ ご連絡はメールにていたしますので、必ず連絡先のアドレスをお知らせください。

※ 複数名で同時にお申込みの場合は、各参加者について①～⑤をお知らせください。

● 参加費 来場、オンライン、オンデマンド配信視聴による参加のいずれも無料

※ 懇親会に参加される方は、懇親会費として一律 1 人 1,000 円をお願いいたします。（当日現金でお支払いください。）

● 申込締切

2026 年 11 月 5 日（木） ※ 来場参加は先着 70 名様とさせていただきますので、来場参加をご希望の場合はお早目のお申込をお願いいたします。

● 招待 URL 送信のスケジュール

オンラインで参加するための招待 URL 送信は、11 月 9 日（月）を予定しております。来場およびオンデマンド配信視聴による参加を予定されている皆様にも、ご連絡を兼ねてお送りいたします。

● オンデマンド配信について

研究集会終了後に、当日の動画のオンデマンド配信を予定しております。詳細につきましては招待 URL 送信時にご連絡いたします。オンデマンド配信のみをご希望の方も参加のお申込みをお願いいたします。

● お問合せ

公益財団法人 生協総合研究所 石川・茂木

E-mail : ccij@jccu.coop TEL : 03-5216-6025

来場（主婦会館プラザエフ 7 階カトレア）

東京都千代田区六番町 15 番地

JR中央線・総武線

四ツ谷駅 麴町口より徒歩 2 分

東京メトロ丸の内線

四ツ谷駅 赤坂口より徒歩 3 分

東京メトロ南北線

四ツ谷駅 四ツ谷口より徒歩 3 分

